



稲刈り in 葛尾村 参加者募集

令和2年10月3日（土） ※小雨決行

福島県葛尾村にある東北大学の水田に、5月に福島県の新品種「里山のつぶ」を植えました。長梅雨や猛暑で生育が心配されましたが、今年も無事に実りの季節を迎えています。今回は手刈りとコンバイン乗車体験を合わせて行います。また、葛尾村教育委員会のご協力をいただき、村内の史跡巡りも行います。是非ご参加ください。なお、今回が最終になります。

*このイベントは「復興アクション」「2020学術研究活動支援事業」の一環です。

対象：葛尾村や稲作に興味がある方どなたでも

募集定員：16名（先着順）

参加費：無料（昼食は各自持参）

申込締切：9/28（月）

申込方法：google フォーム

URL:https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSesm27y9r_6KfHMw1ZUX1AYxponBXTda1Kjfl0JJeL-3Bo-AA/viewform?usp=sf_link



スケジュール

- 8:20 青葉山キャンパス集合
- 8:30 バス出発
- 11:00 葛尾村到着後、稲刈り
(コンバイン乗車体験、手刈り)
- 12:30 昼食（各自持参）
- 13:30 葛尾村教育委員会上遠野さんガイドによる
伝習館、磯前神社めぐり
- 15:00 葛尾村出発
- 17:30 青葉山キャンパス到着

※雨天時は可能な範囲での手刈りや植物工場見学等別プランを検討しています。

当日の持参物

昼食、帽子、タオル、水筒、長靴（ない方には貸し出しますので申込時サイズを申告してください）、雨の心配がある場合はカッパ、着替え等ご準備ください。

*引率者が発言する際はフェイスガードを着用します。

<問い合わせ>

東北大学東北復興農学センター Mail : tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp

Tel : 022-757-4195 担当：大磯 ※お申込はgoogleフォームからお願いします

東北復興農学センターとは

平成26年4月1日に東北大学大学院農学研究科に開設されました。東北復興農学センターでは、被災地の農業・農村の創造的復興～地域振興を先導する人材の育成を目的とし、設立当初から独自のカリキュラムを提供しています。（※新型コロナウイルスの影響により今年度は中止）。カリキュラムの中で、連携を結んでいる福島県葛尾村での実習行っています。また、被災地見学・体験バスツアー、の開催も行っています。

福島県葛尾村とは

東日本大震災で発生した福島第一原子力発電所事故の影響により、全村民が避難をした被災地です。避難指示が解除された2016年に農学研究科と連携協定を結びました。

現在、

- ・お米の栽培・収穫体験
- ・設置した植物工場でマンゴーの栽培・研究
- ・見学ツアー、講義での現地実習を行っています。



稲刈りのツアーについて

東北復興農学センターが主催するツアーで、今年で4回目となります。

今年は新型コロナウイルスの影響で田植えのツアーを行うことはできませんでしたが、地元農家の方が丁寧に栽培し管理してくださっています。

今回収穫する「里山のつぶ」というお米は後日精米し、参加者の皆さんにおすそ分けする予定です。

植物栄養生理学の石山敬貴先生、植物遺伝育種学の北柴大泰先生引率の予定です。



里山のつぶ

はじめて聞いた方も多いのではないのでしょうか？

平成29年に一般栽培が開始された福島県のオリジナル品種です。

標高300m以上の中山間地域で栽培しやすいお米で、食べた時にしっかりした歯ごたえと、適度な粘りのある、美味しい品種です。



<参加要件> ※新型コロナウイルス対策のため、申し込みの前に必ずご確認ください。

- ・マスクを終日着用可能な方に限ります。マスクは各自持参。（不織布マスク配布もあります）
- ・ツアー前は十分に感染予防対策および体調管理をしてください。
- ・体調に異変がある方やバス乗車前の検温で37.5℃以上の熱がある方は参加をお断りします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止とする場合があります。
- ・途中参加は不可とします。

<連絡事項>

- ・マスク・お弁当・飲み物・筆記用具・雨具等を持参してください。
- ・当日は教員2名、事務局員1名で引率します。
- ・気象状況や交通状況により行程が変更となる場合があります。
- ・ツアー中撮影した写真をセンターHPやフェイスブックで使用する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・雨天は中止します。その際は当日朝にご連絡いたします。